

作成日 2017年01月06日  
改訂日 2017年12月01日

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 デゾレートAZ粒剤  
 整理番号 3043-02  
 供給者の会社名称 北興化学工業株式会社  
 住所 〒103-8341  
 東京都中央区日本橋本町一丁目5番4号  
 担当部門 企画部 環境安全チーム  
 電話番号 03-3279-5151  
 FAX番号 03-3279-5195  
 緊急連絡電話番号 03-3279-5151  
 推奨用途及び使用上の制限 農薬(除草剤)

### 2. 危険有害性の要約 GHS分類

物理化学的危険性 自然発火性固体 区分外  
 水反応可燃性化学品 区分外  
 酸化性固体 区分2  
 健康有害性 急性毒性(経口) 区分外  
 急性毒性(経皮) 区分5  
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分3  
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2B  
 皮膚感作性 区分外  
 発がん性 区分1A  
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(呼吸器系)  
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(呼吸器系腎臓)  
 環境有害性 水生環境有害性(急性) 区分外  
 水生環境有害性(長期間) 区分外  
 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

### GHSラベル要素

#### 絵表示



注意喚起語 危険  
 危険有害性情報 H272 火災助長のおそれ:酸化性物質  
 H313 皮膚に接触すると有害のおそれ  
 H316 軽度の皮膚刺激  
 H320 眼刺激  
 H350 発がんのおそれ  
 H371 呼吸器系の障害のおそれ  
 H373 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害のおそれ

#### 注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書入手すること。(P201)  
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)  
 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)  
 衣類/可燃物から遠ざけること。(P220)

可燃物と混合を回避するために予防策を取ること。  
 (P221)  
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)  
 取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)  
 取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)  
 保護手袋／保護衣／保護面／保護眼鏡を着用すること。(P280)  
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 (P305+P351+P338)  
 ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。(P308+P313)  
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312)  
 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。(P314)  
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。(P332+P313)  
 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313)  
 火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。  
 (P370+P378)  
 施錠して保管すること。(P405)  
 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)  
 情報なし  
 情報なし

他の危険有害性  
 重要な徴候及び想定される非常事態の概要

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別  
 化学名又は一般名

混合物  
 塩素酸塩粒剤

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
塩素酸ナトリウム	50%	NaClO <sub>3</sub>	(1)-239	(1)-239	7775-09-9
炭酸水素ナトリウム	30%	NaHCO <sub>3</sub>	(1)-164	(1)-164	144-55-8
鉍物質等	20%				
(シリカ)	(1~3%程度)	SiO <sub>2</sub>	(1)-548	(1)-548	7631-86-9

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
 気分が悪いときは、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗う。  
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断を受ける。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。

飲み込んだ場合  
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。  
直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。  
塩素酸ナトリウム: 生体内に吸収されると、酸化剤としての作用によりメトヘモグロビン血症を生じ、吸収量が多い場合には頭重、頭痛、めまい、倦怠感、疲労感、顔面蒼白、チアノーゼ、尿の着色等の症状を起こすことがある。多量(15~30g)に吞下すると致命的である。腹痛、悪心、おう吐、呼吸困難、意識不明の症状が直後に起こる。  
ばく露による二次災害の防止。  
塩素酸ナトリウム: ばく露の影響は遅れて現われることがある。医学的な経過観察が必要である。

応急措置をする者の保護  
医師に対する特別な注意事項

5. 火災時の措置

消火剤  
使ってはならない消火剤  
火災時の措置に関する特有の危険有害性

水、強化液、泡、消火粉末(りん酸塩類等)  
—  
火災によって刺激性または毒性のガスおよびヒュームが発生するおそれがある。  
火災に巻き込まれると、燃焼を加速する。  
火災を増大させる危険性があるものを周囲から速やかに取除く。関係者以外は安全な場所に退去させ、立入りを禁止する。  
周辺火災時、移動可能な製品は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合は、周囲に散水して冷却する。  
消火作業は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。  
適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

特有の消火方法

消火を行う者の保護

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置  
環境に対する注意事項

作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入、誤飲を避ける。  
除草剤として植物に対して無選択に作用して植物を枯らすので、除草目的以外に土壤などに散布してはならない。  
飛散したものを掃き集めて、空容器に回収する。また水洗できる場所では、大量の水で洗い流す。  
周囲のすべての着火源を取除く。

回収、中和ならびに封じ込めおよび浄化の方法・機材  
二次災害の防止策

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策  
(局所排気・全体換気)

熱から遠ざける。  
可燃物と混合を回避するために予防策を取る。  
不浸透性保護手袋、ゴーグル型保護眼鏡等の適切な保護具を着用し、粉じんを吸い込んだり、眼や皮膚、衣類に触れたりしないようにする。  
取扱いは、局所排気内、または全体換気の設備のある場所で行う。

安全取扱注意事項、接触回避

取扱いは換気の良い場所で行い、粉じんが飛散しないよう注意し、みだりに蒸気やガスを発生させない。  
使用前に取扱説明書を入手し、すべての安全注意を読み、理解するまで取扱わない。  
取扱い後は、手、顔などをよく洗う。

衛生対策

保管

安全な保管条件

直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。  
保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、はりを不燃材で作る。

安全な容器包装材料 ポリエチレン袋、他

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 未設定  
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標) 日本産衛学会 (シリカとして0.03mg/m<sup>3</sup>)  
(2011年版)  
ACGIH(2006年版) (シリカとしてTLV-TWA 0.025mg/m<sup>3</sup>)

設備対策

取扱いについてはできるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。  
取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具 防じんマスク  
手の保護具 不浸透性保護手袋  
眼の保護具 ゴーグル型保護眼鏡  
皮膚及び身体の保護具 静電気防止加工長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

外観 物理的状態 固体  
形状 粒状  
色 類白色  
臭い データなし  
pH 7.8~8.0(×5)  
沸点、初留点及び沸騰範囲 データなし  
引火点 データなし  
燃焼又は爆発範囲 データなし  
蒸気圧 データなし  
比重(密度) 1.0~1.2(かさ比重)  
自然発火温度 データなし

10. 安定性及び反応性

反応性/化学的安定性 常温常圧で安定  
危険有害反応可能性 データなし  
避けるべき条件 火気、衝撃および可燃物との接触  
混触危険物質 データなし  
危険有害な分解生成物 燃焼により、一酸化炭素、二酸化塩素等の有害ガスが発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性 経口 ラット(雄) LD<sub>50</sub> > 5,000 mg/kg  
ラット(雌) LD<sub>50</sub> > 5,000 mg/kg  
マウス(雄) LD<sub>50</sub> > 5,000 mg/kg  
マウス(雌) LD<sub>50</sub> > 5,000 mg/kg  
経皮 ラット(雄) LD<sub>50</sub> > 2,000 mg/kg  
ラット(雌) LD<sub>50</sub> > 2,000 mg/kg  
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 皮膚刺激性試験(ウサギ) : 軽度の刺激性  
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 眼刺激性試験(ウサギ)(非洗眼) : 中等度の刺激性  
呼吸器感作性又は皮膚感作性 呼吸器感作性: データなし

生殖細胞変異原性	皮膚感作性試験(モルモット) : 陰性
発がん性	Ames test、Rec Assay、染色体異常試験 いずれも陰性(原体)
生殖毒性	混合物は区分1Aのシリカを0.1%以上含有し、混合物としては区分1Aに該当する。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	混合物は区分1(呼吸器系)のシリカを1%以上10%未満含有し、混合物としては区分2(呼吸器系)に該当する。
吸引性呼吸器有害性	混合物は区分1(呼吸器系、腎臓)のシリカを1%以上10%未満含有し、混合物としては区分2(呼吸器系、腎臓)に該当する。 データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	魚類 :ニジマス	EC <sub>50</sub> (96h)	> 3,950 mg/L
	甲殻類:オオミジンコ	EC <sub>50</sub> (48h)	> 1,500 mg/L
	藻類	EbC <sub>50</sub> (72h)	> 1,000 mg/L

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄に当たっては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制		
海上規制情報		
IMO	UN No.	1495
	Proper Shipping Name	SODIUM CHLORATE
	Class	5.1
	Sub Risk	—
	Packing Group	II
	Marine Pollutant	Not Applicable
MARPOL		Not Applicable

航空規制情報  
ICAO/IATA

UN No.	1495
Proper Shipping Name	SODIUM CHLORATE
Class	5.1
Sub Risk	—
Packing Group	II

国内規制

陸上規制情報  
毒物及び劇物取締法 劇物

海上規制情報	
船舶安全法	国連番号
	品名
	国連分類
	副次危険
	容器等級
	海洋汚染物質

1495  
塩素酸ナトリウム  
5.1  
—  
II  
非該当

航空規制情報  
航空法

国連番号	1495
品名	塩素酸ナトリウム

	国連分類	5.1
	副次危険等級	— 2
特別の安全対策		積み下ろし時の衝撃および火気に注意する。容器を損傷しないよう取扱いは丁寧にする。輸送中の転落、転倒防止処置をとる。移送時にイエローカードの保持が必要。
緊急時応急措置指針番号		140

15. 適用法令

農薬取締法		登録番号 第23761号
労働安全衛生法	危険物・酸化性の物	塩素酸ナトリウム
	表示対象物	シリカ
	通知対象物	シリカ
毒物及び劇物取締法	劇物	塩素酸塩類及びこれ含有する製剤
消防法		非該当
船舶安全法		酸化性物質類・酸化性物質
航空法		酸化性物質類・酸化性物質

16. その他の情報

引用文献 日本カーリット株式会社 デゾレートAZ粒剤 安全データシート改訂日 2016年10月26日版

記載内容の問合せ先	会社名	北興化学工業株式会社
	担当部門	企画部 環境安全チーム
	電話番号	03-3279-5151
	FAX番号	03-3279-5195

急性中毒に関する緊急の問合せ先

公益財団法人 日本中毒情報センター(事故に伴い急性中毒のおそれがある場合に限る)  
中毒110番 一般市民専用電話 (大阪) 072-727-2499(情報料無料)

365日 24時間対応  
(つくば) 029-852-9999(情報料無料)  
365日 9~21時対応

医療機関専用有料電話 (大阪) 072-726-9923(1件2,000円)  
365日 24時間対応

(つくば) 029-851-9999(1件2,000円)  
365日 9~21時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、情報料 1件につき2,000円を徴収します。

注意事項

本データシートは作成年月日での製品情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。記載されている内容は、安全な取扱いを確保するための情報であり、いかなる保証をなすものではありません。特殊な条件下で使用するときは、その使用状況に応じた安全対策が必要となります。